

1987年9月号

1987年9月5日発行（毎月1回5日発行）

No.129

あんふあんて

発行人/ 発行所/あんふあんて出版部
定価/400円 振替口座/ あんふあんての会 電話/

ことばあそび
ドラエモンのことなどは
フライアイズなんだよ。

しりもちをはたけられるの？

きょうはむいかだから
すいかたべようね。

あぼ
おまはら
絵 三谷



アンゲートより

今回はスタッフが編集を担当します。先日
の来期アンケート、沢山の返事が届きました。
書き足りないこと、いいあらわしきれないこ
ともあったと思われます。でも、全体を通ず
と、なんとなく、輪郭のはっきりしたプロフ
イルができています。共通点、触れられ
ること、合点のいかないこと、いっぱいある
と人生楽しくなりますね。あふあふあふする
女性にカンバイ！では、少しづつ紹介。
(まとめ 木村・辻)

本・映画・テレビなどでよかったもの

- 子どもからの自立
- 今、子を育てること
- 現代子育て考Ⅱ「男の子育て」
- けんかを忘れた子供たち
- 待ちの子育て(山田桂子)
- 自然流育児のすすめ(真弓定夫)
- 私の母乳育児(地湧社)
- 子供の自由な7日間
- ニキータン夫妻と七人の子ども
- 思春期とは(江幡玲子)
- 学校に行かない子どもたち
- 宝島別冊 学校に行かない進学ガイド
- 教科書を子どもが創る学校(小松恒男)

- 子供の煩わしさを自分の中でどう処理する
- 子供(六年生)にいいブラジャーはない？
- 離婚した元夫と子供の関係
- 一人っ子にすることについて
- 下の子の誕生による反応・変化
- 上の子が言葉が遅く社会性に乏しい
- 子供の育て方・しつけ
- アトピー性湿疹・おねしょ・アレルギー
- 二人目の子供・その後の仕事
- 仕事をしたいとPTAの役員にされる
- 近所の子が皆スイミングに通いだした
- 共同保育のやり方
- 子供を連れていける施設がない
- 情緒不安で登園をしづり家にいる娘
- 社会のこと
- 子どもを持つことで、仕事をする中で、
- よりはっきり、ゆがみがみえてくるんで
- すね
- 原発・放射能
- 環境汚染
- 自然の摂理にあった暮らし
- 学校教育・教育産業化への反発
- 国家機密法・拘禁二法
- 添加物・農薬にさらされた食物の氾濫
- 住宅問題
- 自然破壊
- 平和・差別・福祉・医療問題
- 南(第三世界)への開発援助の問題
- 社会のことを知らない・眼を向けられない
- 田舎は人間関係が難しくグループを
- 作りにくい

- 子を持つ女が輝くとき(佐藤洋子)
- 家族関係を考える(河合雄雄)
- バルモア病院日記(中平邦彦)
- 危険な話・東京に原発を(広瀬隆)
- こわい風邪ぐすり
- 農業シンдрーム
- アジアの女たち(松井やより)
- アメリカの男と女(千葉敦子)
- 戸籍が作る差別
- シングルライフ(海老坂武)
- パンコクから来た妻と娘(近藤紘一)
- 赤い夕日の果てに
- おじいさんの台所
- 男のシステムキッチン(丸元淑生)
- 八百屋さんちのお料理ノート(前田栄子)
- こちら本の探偵です(赤木かんな)
- 地球の上に生きる
- 「ウホッホ探検隊」
- 「ホビの予言」
- 「サクリフアリス」・「鏡」
- 「プラトーン」
- 「愛と哀しみの果て」
- 「刑務所の中の懲りない面々」
- 「バック・トゥ・ザ・フューチャー」
- 「ニキース・ステーション」
- 「独眼竜正宗」



もっと言いたいこともあるでしょうが、

一言ずつ抜粋しました。

★思春期を目の前にしているもので、もう少し
年令の高い情報が必要だと思う。現在の学校の
あり方、先生との関係、遊びの現状や理想
的な遊び方など興味がある。

(品川区・一)

★あふあふんては、子供をはじめとする、い
ろいろな束縛から自由になろうとする人が多
いと思う。つまり、「子供」「夫」etcを対立
的、隣壁とみなしている。自分は自由じゃな
いというところが出発点になっている。たと
えば、「子供」をお荷物にしたり、敵にまわ
したりするのは、実はすごく失礼ではないで
しょうか。むしろ、教えられて人間らしくな
っていくんだなと感じます。

(中野区・)

★私にとって、あふあふんては、新たな宿題
を次々に投げかけてくれ、また、何に對して
も、問題意識を持って話しをできる人のいる
刺激的なところ。

(大田区・)

★近所の人にサクルのことを話しても、お
かしな顔をされて、理解には遠い。みんな自
分の家庭の中で手一杯である。外に向けて女
の自立が叫ばれている現在、家庭の問題が起
きたときの責任を女の人が背負ってまで、自
立すべきなのか。

(浜松市・)

★大和市内の会員が三人になって、連絡とり
あい、会ったりしています。保育園見学等)
子供が小さく、なかなか話し合いまではいか

今、悩んでいること・興味あること

「自分のこと・子どものことについて」
多少違っても、誰しも一度は似たような経
験をしているのではないだろうか。

- やりたいことは多いが時間がない
- 田舎で暮らしたい
- 会社の中で自分の地位を確立したい
- 将来にわたって続けられる仕事
- 友人作り・場作り
- ひたすら痩せたい
- 資格試験の勉強
- 仕事をしたいけれど小さい子を
- 心を開ける友人がでない
- 昔話を語る時を持ってないこと
- 社会参加の方法と金銭的自立
- 社会参加したいが子連れには限界がある
- これからの生き方
- 健康を保つ
- 地域で女の連帯を深めたい
- ボランティア活動をやりたい
- 私の好きな唄・おはやし
- 姑との暮らし方、老いた母のこと
- 精神的スランプから抜けたい
- ワープロで育児記録をまとめる
- 何かしたいが何をしたいかわからない
- 幼児教育(モンテッソーリ)・自主保育
- 長男がでんかんで知能・身体の方も遅れて
- 二人の子をどう平等に育てるか
- 週に一度くらい子供から離れたい

ず、残念……。(大和市・)

★母乳で育てた仲間達の会合に出席。母乳で
育った子、ミルクで育った子の違い、食事、
しつけの事等で頭が一杯。先日、しかり方
が甘い、とある人に言われた。その人は手に
持っているもので、悪いことをした時は、子
供をたたくとのこと。ちなみに私の娘は、三
才三ヶ月の女児。活発で明るい、きかない。

(茨城県・渡辺)

★たまに仕事の手が離れる時があっても、子
供を保育園に預けておきながら、という思い
にしばられて、思うように行動できない。

(新宿区・重盛)

★あふあふんてを知ったのは、妊娠中。その
頃は、「私は私。子供は子供。母になっても
やりたいことはやりたい！」と思っていたの
が、三才位になるまでは、一緒にいて、共通
の体験をしたい、させたいと思うようになって
しまった。

(新宿区・渋谷)

★仕事をやめて、毎日、公園通いをするよう
になり、保育園に預けていた頃比べて、そ
の遊び方、保育士の悪さ、子供にふりまわさ
れてしまうことのイライラ……。あれから一
年が過ぎ、専業主婦にも、地域にも愛着がう
まれ、少しずつだけ、話のできる友達も
できつつある。この春からは、小さな菜園を
借りて野菜づくりをはじめた。自主保育はで
きそうもないが、ゆっくりとこの土地で、私
も子供と一緒に生きていきたい。

(大和市・町田)

夫・男について

- もつと愛せるような夫になつて
- もつと人間としてかわりあいたい
- 夫ともつと一緒にいる時間がほしい
- もつと深く関わり合いの遠慮している
- 社会や人生のことをもつと語り合いたい
- 私とい関係になろうとすると外(会社など)との関係がしんどくなる
- 父と母である時間が長すぎる。男と女はどこへ
- 男とはなんぞや・どうかかわるか
- もつと積極的に家事・育児参加させたい
- 家庭内性別分業・男の子育て等、新しい考え方の男たちとその活動を知りたい
- 夫も家事をするのが当たり前と思う私と、妻が怠けるから僕がやるという夫
- 寝に帰ってくるだけの生活パターンと夫一人にかかる経済負担の解決方法
- 明かるいうちに帰ってこれるような仕事の仕方は?
- 夫の仕事量が多く(歯科技工士)自分の時間をもてずかわいそう
- 夫と女性観・家庭観が不一致で事ある毎に戦い
- 仕事のため半別居
- 経済的・精神的共に私に依存しがちな夫との関係を構造的に変えるか離婚か
- 妻子に家とお金を与えればそれでよいと思つてゐる夫
- 夫はいろんな意味で同志という感じ
- 夫以外に男友だちが欲しいし必要だと思ふ

あんふあんてについて どう思っているの?

情報誌の印象

- 同じような悩みを抱えているんだな
- 子育てしながらいろいろな場で生き生き活動している人の存在を知り勇気づけられた
- 母も子も楽しくなるよう活動する方法を示してくれた
- 世の中本気で生きてる人って割と多いんだ
- 我が意を得たりでも過激な箇所も
- 驚いた、面白かった、目が変わった
- 子供ベッタリでなくこれはイイ
- 刺激になる
- 他の場所では得られない主婦の本音
- 自由のびのびと自主的な感じ
- 手作りの人の気持ちが感じられ心温まる
- 子育て中の母親の辛さを良く理解できる
- 他の人(特に自分と似た立場の人)の考えを知るの面白い
- 身近な主婦の会話に無い情報が新鮮
- いろんなことを考えてる人がいる。でも主婦仲間ではういている?
- 元氣過ぎて攻撃的な印象。男と女を意識しすぎ
- なんだかきばっている
- 何度も読むうち同じ物の言い方に飽きた
- グチャッばくてイヤ(最近そうでもない)
- 気後れした。誰とも交流してないことが取り残されたような

もつと言いたいこともあるでしょうが一言ずつ抜粋しました。

★「預け合い」そして「婦人学級」でも、地域活動・子育て等は女のものと大前提に立っているようだが、それでみんなは疑問を感じないのだろうか? 男は外で働き、女は家庭や地域を活動の場とされる。そういう区別をつける、人生がおもしろくないと私は思う。人生を半分しか生きられないもの。私は実力をつけて仕事をもつて来ようとする。でもそれと家庭の両方を生きられるだろう。でもそれと夫の収入という傘の下にいればこそ。夫を、自分(夫)が望むからといって全くの仕事を人間にしておいて、私だけのほとんどと人生を楽しむなんてどこか間違っているような気がする。現実をはっきり見詰めれば、そして自分に忠実になろうとすれば、待っているのは離婚だ。

「うちのお父さん」は日曜だけ家にいる人。頼りにされているのは、お給料を確実にもらって帰ること、旅行の時荷物を持ってくれること、ぐらいいかな。晩ごはんもいつも別々。考えてみればこんな淋しいことはない。でも問題なのは、夫自身がそれをあんまり淋しいと思っていないことなのだ。仮に私が自分のするさに正直になろうとして離婚を切り出しても、夫は私の行動を理解できないのではないかと思う。

みんなは「夫」をどう位置づけているのでしょうか? (江東区)

★男の子育てネットワーク情報をもつとはし

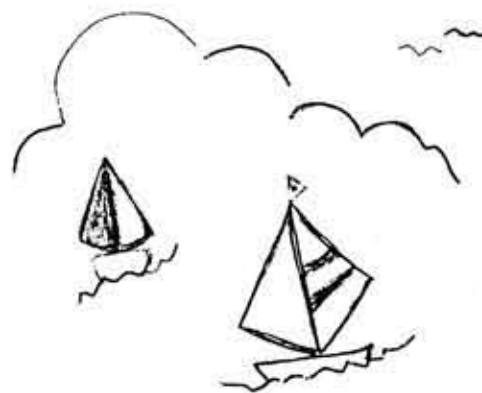
- 表紙の詩がいい。まとまりのない感じ
- 長々と頭張つていて偉い
- もつと軽い感じかと思つていたら、なかなか凄い
- こういう世界もあるのか
- ホッとしました
- 本音を言っているが、それだけに重苦しい
- 頭をもつと整理して文章書ければいいのに
- 孤立した私に横のつながりを感じさせた

面白かった記事

- 原発
- 仕事について
- 夫、男との関係
- 子供は何人?
- 共同保育、自主保育、私たちのさくらんぼ
- 生命操作
- 浮き度チェック
- 子どもから離れる
- 子連れは迷惑か?
- 密室育児にメリットが無いという記事
- 健診、接種、リズム法
- 学校のこと
- 性について
- 性と経済で夫との関係をとらえた記事
- 地域って何
- 福岡グループ
- いろんなイベント情報
- 食品添加物
- スタッフ編集号
- 心配して下さいあんふあんてのお金のこと
- 新スタッフ呼びかけ

いす。女にはあるけれど、男には会社のつながりがないでしょ。うちの亭主は子育てのことなどを話し合える友人がいなくてかわいそうです。あんふあんてが、そのパイプ役をつくれるといいね。男たちは何してるの? ケツをたたくだけでなく。公園に行つても、けつこ男の人が赤ちゃんをつれて散歩しているのを見かけるけれど、赤ちゃん連れの女の人とは話をしにくいみたいで、子供とワンセットでボソソとしていて。女の人も亭主以外の男とは話ができません。という感じ。(国立市)

★未婚なのでまだよくわからないのですが、一緒に住んでいる夫とか御両親などは、どういう考え方や接し方をしているのでしょうか。理解や協力はあるのでしょうか。(新居浜市)



もつとこうしたら?

★同じ投稿者が毎回出てきてすごく権威的に見える。全体としてどのくらいの投稿があつてどんな動きだったのか。あんふあんて移動編などの報告も、スタッフの一人がまとめるなどして小さく載せてもらえればもつと参加する意欲がわくと思う。もちまわりの編集システムは良いが、一回ごとに話題が断ち切られていくような印象を受ける。(世田谷区)

★一年間のテーマをある程度決めてスケジュールを立てていただければ、心の準備ができると思います。(参加したい、書きたいと思うことより、したかったなで終わることが多いものですから)(鶴岡市)

★紙上討論会のようなものがあつたらもつと会員同志の意見がクオスするのでは? 今はテーマが比較的単発で、前回のテーマについての意見交換がなくて残念。グループ編集するとしても、そのテーマを何回目にもグループが編集した〇〇についてというようにしたらどうでしょう。(横浜)

★本当に自分が今、何をしたいのか、どう感じているのか、をはっきりさせていかないと、情報のはらんしている今、どんなおかしな方向に行つてしまふのではないか。母として妻としてというより、一人の「人」として考えてみたい。(町田市)

覚えていますか

チェルノブイリの原発事故を?

その12

原発は今からでも止められる!!

—— 原発の本当の姿を知ったら ——

文京区

日本では、試運転の二基を含めて三十六基の原発が動いており、アメリカ、フランス、ソ連に次いで、四番目の原発大国だそうです。日本で昨年度使った電気のうち、原発によるものは二五兆だそうですが、原発がなくても火力、水力発電によって、電気を一番使う夏のピーク時にも、原発の発電量の倍以上の電気を楽々とつくれるといわれています。つまり原発がなくても困らないわけです。原発は核兵器の原料であるウランをもち、プルトニウムを生産しているんだって、なんか臭いなぁって感じがするなぁ、考えすぎかな。

多くの国が原発をやめようとしているのに、原発を推進しようという原発大国が、ソ連、フランス、日本なんだから。フィリピンでは完成間近で止められた原発を密閉、台湾では一、二号炉の基礎工事を停止、スウェーデンでは二〇一〇年までに全原発を止めるという計画を繰り上げ実施する動き、フィンランドでは通産相が長期エネルギー政策の見直しを表明また女四千人が一九九〇年までに原発を止めないと子供は生まないとデモ、ということと、今さら原発をとめるのは無理とあきらめることはない、やろうと思えばできるんじゃないかと。

やないかと、気持ち少し軽くなりました。

原発で働いて被爆している人がいます。発電所の定期点検や故障修理、除染作業などのもっとも危険な場所で作業をしている原発の下請労働者は、だいたい五万人。この人達がいけないと原発は動かない、放射能を浴びるのを前提としている仕事です。出稼ぎ労働者とか炭鉱労働者などが、少しでも収入の多い原発労働者となるのです。騒音と熱気と放射能の中で作業で、被爆しない為に宇宙服のような服を着、放射能をすい込まない為にマスクをします。アラームメーター（決められた以上の放射能を浴びるとブザーがなり、仕事をやめ外に出る）ポケット線量計（外から浴びる一日の放射能の量を計る）フィルムバッジ（長い期間に浴びる放射能の量を計る）TLD（一日の被爆線量を計る）以上のものも身につけます。息が苦しいのでマスクをはずして仕事をすることもありますが、アラームはすぐ鳴り仕事にならないのではずしたり人に持たせてもらったりして、被爆線量が多くなればクビになるので、被爆線量もごまかすみんなそうやっていっていることなんです。その結果医師通いが始まり、働けなくなり、放射能被爆は証明されないのに労災も認められず、生活は苦しくなるばかりです。こんな仕事場があつていいのでしょうか。早くなくしましょう。

★8月号で紹介した本の価格、間違いでした。
「食卓にあがつた死の灰」

定価400円 送料170円
原子力資料情報室 〆(832)1976

図書コーナー

よく死ぬことは、よく生きることだ

千葉敦子著 文芸春秋社 定価 千円

浦和市

三十ウシ年、心臓に少々雑音をかかえる身なれど、出産以外病院に縁のなかった私が、フカクにも三ヶ月以上入院してしまつた。突然の専業主婦の不在は家庭にとつても大問題だつた。主婦って、家族のことは心配しても自分は無理をしがち。疲れたら堂々と休みましょう。

この間の我が夫の努力、献身は素晴らしい。さてこの本は新聞連載等をまとめたもので、ひと口に言つて日米医療事情の比較論です。

実際に国立と名のつく病院に入り、ガマンを重ね、疑問をいだいた身には、良い言葉が多く、まさに我が意を得たりの心境になります。競争率の激しい受験戦争をくぐり抜け、国家試験をパスすれば、人間性が欠けていても誰でも医者になつてしまふ（実際この春パスした若い研修医の口から、ボク今週から医者になつちやうと、という言葉をきいてアキント。）この国のレベルの低さ。人権無視の感覚、等々、是非一読いただきたい。

視点は変わりますが、中年以上の男の入院患者のだらしないこと。妻に甘え、生活が自立出来ていないなんて、日本の男以外考えられない。どうして、男は仕事をしない時は子供じみていて、いいのでしょうか？

イベントただいま準備中!!

—— ところどころだを解き放とう ——

へこんな経過で芝居づくりが始まった。ずつと昔にアングラ芝居をやつていた人、シナリオをちょっと書いたことのある人、体を動かすことで自己表現したいと考えていた人、書いたり読んだり、芝居を観るのがやたら好きだという人、そんな人たちが「あんふあんて」の飲み会で出会つて、「やろうか」「やろうよ」でたちまち話が盛り上がり、お開きの頃にはシナリオのあら筋までできあがつていました。

その後、あら筋に手を加えたり、場面設定を色々考へてみたりして楽しい作業が続きました。ある日、やるのはいいけれどどこでそれをやるかの話しになって、その時初めてイベントの話がもちあがり、その「芝居とイベントで少々荷が重すぎるのでは?」「いろんな人をまきこめばおもしろいことが出来る」「あんふあんての皆に最初に観てもらうのがいいね」等々と決まるまで皆の心の中も多分半信半疑だつたのではないかな。とにかくしたいのイベント予定日まではじき出したのだからもう進むっきゃない!!のです。

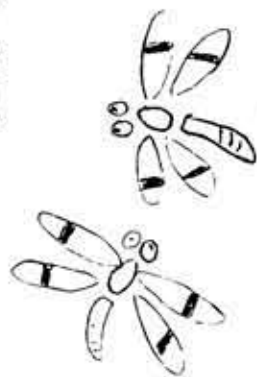
演じる方も観に来る人も、それぞれがおもしろいと思うものを作ろうとするからけつこう皆真剣なのです。（ハンパじゃない）それにしても主に動けるメンバーがたつた四人なのだからしんどいこと、誰か一緒にやってくれる人、ホント名のりをあげてネ!!

へどんな芝居か覗いてみよう

さて、その芝居のあら筋は見てのお楽しみにも思つたけれどやっぱ少しだけ紹介しておきます。

大ざっぱに言えば女と男の物語です（興味でてきたでしよう）。それぞれの誕生から成長、恋愛、結婚、出産……とエピソードを追つてゆきます。私達の誰かが一度は経験したことのあるような日常の中のお話です。そして結末は? それこそ観てのお楽しみ!!

シテイ感覚の味つけで見せるか、アングラ風マジメ路線でゆくか、それとも現代的新劇調でゆくか、ミュージカルでせまるかズイブン悩みましたが結局私達がやるのはレトロ風ドタバタ芝居ということになりそう。



へ舞台うらより

四人のメンバーの子供達はそれぞれ小学校高学年以上だから、数年前に比べればこんな楽しいののかナと思えるくらい。でも四人とも働いているので集まる日は月一回土曜日の午後ということになります。皆古くからの会員だから芝居の話そつちのけで当時の思い出話に花が咲くことも。でも一番話したいことは女である自分達自身のこと。芝居始めたのも多分それが一番大きい理由。

へイベント準備 その1

イベントの中身は、七月の雨の日の準備会で話し合い、だいたい次のように決まりました。（予定なので変更もあるかも）

①大道芸

②和太鼓

③子供と一緒に唄える唄

④芝居

⑤パンク・ロックの唄

⑥ディスコ・タイム

⑦交流会

出演者はすべて会員。当日の進行や会場係等も、何人かやつてもらえそうです。でもまだまだ手が足りません。当日だけでもできる人連絡ください。一緒にシェアしましょう!!

期日 十一月上旬の日曜日の午後

場所 豊島区民センター（予定）

託児あり（必ず予約してください）

参加費 五百円くらい（子供のおやつ代別）

会場がまだ決まらないので日にちも未定になつていきます。次の号で又お知らせします。

当日は、隣合った人にもほとんど話かけてみよう。もちろん一人で楽しみたい人も歓迎。会場で品物を売りたい人、作っている物を皆に見てもらいたい人（例えば写真・絵・織り物など）是非連絡ください。

旧交をあたため合つたり、新しい出会をみつれたり、唄を歌ったり、とにかく皆元気がでるような、エネルギーが湧いてくるようなイベントにしたい!!

※イベントと芝居の連絡先は事務局、又は

砂田 〆

松井 〆

—— まで是非。

新設の都立芸術文化会館に保育室を！

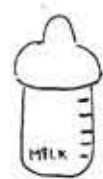
「こんな声はこの十五周年で初めて？」
私たちがあちこちで託児をつけて！と
声をあげてきたつもりだったけど、
地域でグループをいくつ作り、共同保育
したり、婦人講座をやったり、生協をやつた
りして行く中で、最終的にぶちあたったのは「行
政」。日常の中で感じた疑問や思いを外に向
けて言わない事には、世の中にも変えらな
い。変えられないところが気づいてさえもらえ
ない。だから、まず私たちの思いを伝えよう
と動いてきたはずだったのに……

私たちの声は「行政」に届いていなかった
「都立の芸術文化会館という素晴らしい建
物が池袋駅のすぐそばにできるけど、設計図
には保育室が見えない」という話を都議
会議員の三井マリ子さんから聞いたのはこの
七月。急ぎ寄せ集めのメンバー四人で都庁に
行き、教育庁の課長と建設担当の人に、ぜひ
保育室をつけてほしいと要望してきた。
芸術も文化も、子持ち女は託児付きでなけ
れば一切触れる事はできない。一番目の子は
やつと小学生になった。でも三番目はまだ一
才。コンサートなんて十年いってない。ああ、
芸術も文化も遠ざかる。
マイタウン東京は名実ともに世界をリード
する世界都市東京の建設を目指しているそう
だが、今どき託児の用意がない催し物や、保
育室のない建物は、世界のおくれ！ですよ。
三百億円もかけた地下四階、地上十階の立派
な建物に何故、保育室のスペースがとれない

のか不思議だ。

この構想は十五年前からあり、保育室を付
けてほしいという要望は、今回初めて出てき
たというので、それにはこちらの方がビク
リ。構想の段階で十五名ほどの委員会のメ
ンバーは主催者側の代表で、観客側ではな
かったというし、しかも女性二人だけ。どう
いう場にも半分は女性がいなければ、物事決
めちゃいけないという法律でも作った方がい
いのでは。

今、保育室なしなら、
この会館には三十年後も保育室なし
教育庁の課長は「要望はわかりました。内
容は上司に伝えますが、私の方の返事として
は、今のところそういう余地はない、と答
えておきます。」で当日は幕切れ。
この会館はすでに地ならしが始まっている
けれど完成は三年後の予定。「保育室を！」
の声が初めてでも、少数の要望でもないとい
つてもいいように、九月下旬に再度要請に
行きたいと思う。その時、保育室が大勢の要
望であることを伝えたいので、急いで署名用
紙を作ってみました。都近辺の方に送らせて
いただきますので、家族の方だけでも、あな
た一人だけでもかまいません。どうか署名に
ご協力をお願いします。返送は事務局宛でも結構です。
九月十五日までにお願います。
(子連れの参加でできる政治を考える会
・三谷)



情報コーナー

★平日あんどふあんと・いわさきちひろ美術館
先月号で澤渡さんが推選していた所です。
赤ん坊連れでのんびりできそうです。
日時・9月22日(火)11時～2時 入口集合
場所・西武新宿線井草駅下車徒歩7分。駅
にパンフもあり、道しるべもあります。
大雨中止・入館料500円、弁当・水筒持参。
参加希望者は18日(金)3時まで事務局へ。

★託児付映画会のお知らせ
日時 9月30日(木)10時～3時
場所 中野区婦人会館研修室・保育室
参加費 200円(子ども一人につき)おやつ有
子どもの昼食・着替え持参のこと
連絡先 (午後5時～8時) 松島

★グループの仲間になって下さい
武蔵村山周辺グループの さんが転居の
ため、連絡先を変更します。立川周辺の方、
お友達になってください。

★新グループ「ほんもん見クラブ」

会員三名で毎週月・木曜の10時30分～14時。
当面の目標は預け合いです。三才児一名、二
才児二名が池上の本門寺公園で泥んこ遊び、
木登りなど、野性児への道を歩んでいます。
三家族共、玄米菜食を取り入れたナチュラル
指向の生活のため、食に関する情報交換の
場ともなっています。

★あんどふあんと連続講座 その4 お知らせ

大田区のメンバーが企画した家庭教育学級
です。テーマは「今、新しい父性を求めて」
講師・男の子育てを考える会
日時・9月13日(日)午後2時～4時
場所・大田区立婦人会館 保育予約制
連絡先・

★「子どもの目に映った戦争」原画展の日程

—愛・平和・未来・そして子どもたち—
9月11日～14日 埼玉会館
9月16日～21日 徳山市文化会館
9月18日～22日 二の宮・西友
9月24日～30日 黒崎そごう百貨店
9月25日～29日 鹿児島・山形屋百貨店
10月2日～6日 東京・文化学院
原画展を見た感想も情報誌に寄せて下さい。

★アレルギーの子供も安心して食べられる、
おいしいクッキーの本を企画中。本格的作り
方の心得のある人、栄養士の人のご協力を待
っています。

★託児付講演会のお知らせ

池袋の要町集会所で講演を、そして同じ建
物内の児童館で子どもたちを託児します。
①テーマ「水は生きている」
講師 斎藤親仁氏(きれいな水と命を守る
合成洗剤追放全国連絡会事務局長)
日時 9月17日(木)10時～12時
場所 池袋要町第一区民集会所(要町1の
59)地下鉄有楽町線要町下車3分
参加及び託児の申込み(夜6時～10時)

②テーマ「子どもたちの未来」原案のこと
講師 松岡信夫氏(市民エネルギー研究所
代表)
日時 9月24日(木)10時～12時
場所 及び申込みは①に同じ

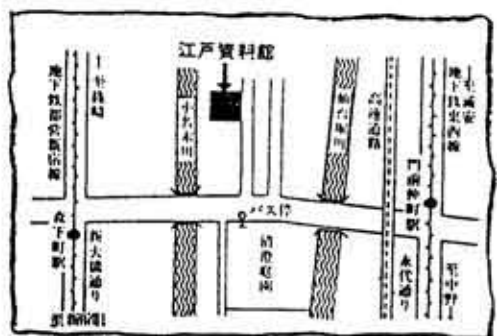
★講演会に参加して 文京区

池袋の託児付講演会のシリーズ第一回(七
月)は、医師の真弓定夫氏を迎えての「自然
流児のすすめ」でした。主に食の問題を取
りあげて話してくださいました。
季節に関係なく私達の食卓に乗る化学肥料
や農薬をたっぷり使った野菜、食品添加物の
入った加工食品等、私達がまちがった「豊か
な生活」を追い求めた結果、子ども達のアレ
ルギー性の病気の多発です。子ども達に本當
の食べ物を与えることのむずかしさを実感。
また、地域によっても食べ物が違ってくる
ことなど思いもおよびませんでした。地域に
できる新鮮な野菜、くだもの、小魚を手に入
れ、食生活に時間とお金をかければ、健康な
体を取戻せるのです。

★「日本の大道芸」みに来てちょうだい！

さあ、出るよ、出るよ、ついに出るよ、私
が出るよ。「あんどふあんと」に飽きちゃって、
入った「大道芸研究会」。何のイデオロギ
もありません。まして託児などありません。
何だろう、面白そうだな、昔懐かしい大道芸
ちよつと覗いてみたいなと思う方、いらつし
やい、いらつしやい、是非来て。絶対来て。
日時 9月20日(日) 12時～？
場所 深川江戸資料館
03(630)8625
前売券 1500円・当日券 1800円
遅ればせながら、私は古い会員の神田と
申します。ヨロシク。

大道芸研究会 (夜8時すぎに)



・地下鉄東西線・門前仲町駅下車・徒歩15分
・地下鉄都営新宿線・森下駅下車・徒歩15分
・都営バス・門33・清澄庭園下車・徒歩3分

★反原発映画「ホビの予言」上映しませんか
チェルノブイリの事故の記憶もうすれつつある今、アメリカ在住民の証言と歴史をもとに、もう一度生きることの根源から問い直し、原発について考えてみましょう。映画とビデオの上映会を呼びかけているので、あなたも地域でやってみませんか？

映画上映は参加者五十名、大人千円、子ども五百円が目安で、監督の宮田雪さんが出向いて話をするという形になります。
問合せは同映画上映実行委員会へ。☎0425(75)8291(スタジオ・リーフ内)

事務局から

●来期アンケートの中に、「毎月の情報誌、どうして料金別納にしないで切手を貼っているの？」(大田区・矢嶋)という意見がありました。切手にしている理由は、①入会問合せ等で送られてくる切手を使いたいから、②料金別納は郵便局へ行かないとダメだけれど、発送作業している所から遠いし、郵便局へ行く係になった人はせつなく集ったメンバーとの話合いに参加できないなど。発送を手伝う人が増えるか、もつと手間の省ける方法がみつければ、改善したいと思います。
●「実際保険が支払われた実例を知りたい」(市川市・大見)という声もありました。六月号「ケガについての報告」にあるような、ころんとどこかを切ったというようなケースが主で、年に一件か二件程度。免責額以下がほとんどです。入会の時渡された保険につい

ての説明を、たまに読み返してみてもいい。
●八月末の交流会の報告は今回間に合わなかったため、来月号に載せます。

スケジュールメモ

9月18日(金)切手貼り、発送準備 (事務局)
9月22日(火)平日あんふぁんて移動編 (いわざきちひろ絵本美術館)
9月26日(土)土曜あんふぁんて (神楽坂)
10月5日(月)10月号発送作業 (神楽坂)
☆10月号特集「最近怒っていること」の原稿は大至急
さんまで送って下さい。

編集メンバーから

●原発コーナー、「原発のほんとうの話」という本を参考にしたのだけれど、書き上げるまでずいぶん苦しかったです。(後藤)
●編集っておもしろいですね。(木村)
●校正も赤ん坊連れで頑張ります。(辻)
●私は交流会の事で頭がいっぱい。(島本)
●都庁で出会った人たちの中から「芸術文化会館に保育ルームを設置させる市民の会」が生まれました。要望を出すなら今がチャンス。国立婦人教育会館や新幹線をはじめ、あちこちで託児室やベビーコーナーを設けて、働きかけしてきた伝統ある(?)あんふぁんてのメンバーとしては、だまっているわけにはいかず、重い(?)腰をあげました。署名協力お願いします。積極的に仲間になってくれる人がいるといいなあ。(三谷)

事務局の地図

☆当会について詳細を知りたい場合、封書にて、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し切手四百円分(なるべく少額切手で)を送って下さい。宛先は表紙上段に記載。
☆入会希望の場合は、なるべく六カ月(二千四百円)以上まとめて郵便局の振替口座で払い込みを。口座番号は表紙上段に記載。なおTELもお忘れなく。
☆事務局の電話受付は原則として月/金曜の1時から3時半です。御協力を。
☆会費の振り込みを忘れている方は至急振り込みを/休会、退会も必ず連絡をください。